所報
あおまつ
No.72　2017. 12

新潟県少年自然の家
〒959-2602
新潟県胎内市乙字大日裏
☎ 0254-46-2224　Fax 0254-46-3070
自然の家ホームページ
http://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/

新施設のオープンに向けて

所長　丹後　裕

去る７月４日（火）、胎内市教育委員会教育長・小谷太一郎様をはじめ、大勢の御来賓の皆様の御臨席をいただいて、当所の延利用者数 150 万人達成記念式典を盛大に実施することができました。これは、地元胎内市や乙宝寺、後援会や地域住民の皆様から長年にわたって御支援御指導をいただいたことの成果と受け止めており、所を代表いたしまして心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、当所は、現施設の老朽化に伴い新施設建設工事が本格化してきています。テント村近くの松林の中で、野外活動支援棟建設工事が現在進んでおり、平成 29 年度末には完成予定です。また、グラウンドに新築される本館工事も 11 月に起工式が行われ、所としては新施設への移行を視野に入れた運営を行っていかなければならない時期に入りました。

平成 30 年度も現施設を利用することはできますが、新施設建設工事のために様々な制限が設けられることになります。利用される皆様には御不便をおかけすることとなり、とても心苦しく思っているところです。新施設誕生の『産みの苦しみ』と言えるかもしれませんが、不便な中でいかに利用者の皆様の満足度を高めていけるかが、現在の私たち所員にとっての大きな課題です。そして、現施設を稼働させながら、新施設の運営をどう進めていくのかを考えることも大きな課題です。

新施設の宿泊可能人数は現在の約 1.5 倍になる予定で、１日当たりの利用人数も当然多くなることが予想されます。利用者が増えることは好ましいことですが、提供する活動プログラムや主催事業の量的質的な充実度も増していかなければなりません。「施設は新しいが、内容が今ひとつ」というような声が聞こえてきてはならないと思います。新施設の姿は現在は図面でしか確認できませんが、活動プログラムや主催事業を見直し、イメージを膨らませて、新施設のオープンに合わせて利用者の皆さんに満足していただける各種メニューが必要です。他の類似施設を視察したり、職員研修を行ってプログラム開発を進めたりしていかなければなりません。また、従来の考え方に拘らない新しい発想で、柔軟に所の運営を考えていくことも必要です。例えば、「NPO 法人と協力して主催事業を企画立案する」「外国人を対象とした冬の自然体験活動プログラムを開発する」なども十分に検討に値すると思います。

少子高齢化が進み、人口が減少する社会構造の中で、当施設があるべき立ち位置を真剣に考えながら新施設に思いを馳せることは、この時期に勤務する職員だけが経験できることです。大変な時期ではありますが、新施設のオープンに向けて、職員一丸となって職務に励んでいきたいと思います。





上半期主催事業の様子

＜利用団体事前研修会＞



６月から９月までの利用団体引率者を対象にした研修会。この会の主な目的は『①当日の活動がスムーズに行えるようにすること。②事前指導が効果的に行えるようにすること。③利用日における団体間の活動時間や場所等を調整すること。』です。4/25(火)、5/30(火)、6/26(月)と３回行いました。ご多用の中、ご参加いただきましてありがとうございました。

【参加者の声】

「事前に決めることが洗い出してあってスムーズに調整できました。」

＜はつらつ体験塾＞

さまざまな体験活動（クッキング、キャンプファイア、登山、カヌー、源流探検等）を通じて不登校・不登校傾向にある児童生徒の自立を支援するために実施しているキャンプ。大学生のボランティアや看護師からスタッフとして協力いただきながら、これまでに、１泊２日のキャンプを５回、２泊３日のキャンプを１回行いました。

【参加者の声】

「みんなで遊んだり、いろいろなことができてすごく楽しかった。」

「いろいろな人と話をすることができて楽しかったです。



＜ハートフルドリームキャンプ＞



新潟県生涯学習推進課主催の一人親家庭対策事業。４月と 10 月に１泊２日のキャンプを行いました。４月はうどん打ち・野外クッキング、キャンプファイア、10 月は釣り体験、米粉ピザ作り、ハイキング等を行いました。

【参加者の声】

「うどん打ちは家ではなかなかできないことなので、子どもにも良い体験になったと思う。」

「初めての釣りを体験した。実際に魚を釣ることができてとてもうれしかった。」

＜チャレンジわんぱく＞

小学校４・５・６年生を対象に、１泊２日で年３回（７月・10 月・１月）行います。自然体験や共同生活を通して、豊かな心とたくましい身体を育てることをねらいとしています。これまで、カヌー、キャンプファイア、テント泊、野外クッキング、大峰山登山等を行いました。

【参加者の声】

「僕は班のリーダーで、班員をまとめるのが大変でした。でも、みんなが僕の言うことを聞いてくれたので助かった。この体験を生かしたい。」

「最初は何かと不安でしたが、すぐに新しい友達ができて、とても楽しかった」。



＜家族でカヌーに親しもう＞



８月 11 日（金）　県内各地から参加した親子が、胎内川でカヌーを楽しみました。最初は慎重なパドル操作でしたが、すぐにコツをつかみ、気持ちよくカヌーをこぐことができました。

【参加者の声】

「子どもにカヌーの楽しさや、自然のすばらしさを体感させることができてよかった。」

「子どもと一緒に貴重な体験ができてよかった。」

「非日常の体験で、心身ともにリフレッシュすることができた。」

「子どもがいろいろとお手伝いする姿を見て、頼もしく思った。いい経験だった。」

＜自然・ふれあい！家族のつどい＞



親子を対象に、さまざまな体験活動をとおして、親子のふれあいや他家族との交流を深めることにより、豊かな情操や社会性を育てることをねらいとしています。夏と冬、年２回行います。夏は野外クッキング、キャンプファイア、壁飾り、フォトオリエンテーリング等を行いました。

【参加者の声】

「親も子も楽しむことができ、他の家族とも交流することができた。また、職員の皆さんの目が行き届いており、気持ちよく参加することができた。」

＜指導者スキルアップセミナー＞

自然の家の活動プログラムを実際に体験し、指導法や危機管理等を学んでいただくことを目的とした事業。A,Bの２コースに分かれ、１泊２日 6/10（土）～6/11(日)で、野外クッキング、テント設営、カヌー、キャンプファイア、野外ゲーム等、準備を含めた運営の仕方を学びました。

【参加者の声】

「児童を引率する際、活動のイメージをもち、児童が安心して見通しをもって活動できるような指導者としての力を身に付けたいと思って参加した。体験して分かったことが多く、事前学習や当日の指導にとても役に立った。」



＜自然の家で防災キャンプ＞



避難場所での適切な過ごし方や災害時に役立つ技術を、避難所体験活動を通して習得する事業。10/28（土）～10/29（日）に１泊２日で行いました。今年度はNPO法人ふるさと未来創造堂の中野雅嗣様より、「親子で学ぶ防災活動」と題して御講演いただきました。また、体育館でテント泊、非常食調理体験を行いました。

【参加者の声】

「子どもも親もたくさんのことを楽しみながら学ぶことができ、とてもよかった。」

お礼の手紙をいただきました



「お手紙、ありがとうございました。」

夏が近づきだんだん暑くなってきましたが、お元気ですか。

先日はお忙しい中、私たちのために自然の中で協力することの大切さや、自然にふれ合う楽しさを教えてくださりありがとうございました。

私が印象に残っているのは、野外炊さんの片付けを一発合格したことです。私は先生からふきんでしっかりふくとよいと教えてもらいました。だから、気を付けてふき、職員の方から一発合格をもらいました。その時はとても嬉しかったです。これからまた暑い日が続きますが、お体に気を付けてお仕事がんばってください。

長岡市立上組小学校　五年生

私が一番心に残ったのはオリエンテーリングです。最初は「簡単そうだな」「でも、全部できるかな」など不安でいっぱいでした。けれども、みんなが「頑張ろうね！」と言ってくれました。その時はすごくうれしかったです。私も頑張ろうと思いました。スタートして少し時間が経ち、「今、何時？」と時間を気にしながらも、暑い中、みんなと力を合わせて頑張りました。私は記録係なので荷物が多かったです。その時、友達が「大丈夫？」と声を掛けて荷物を持ってくれました。やっとゴールできた時は、「やったぁ」と言いました。全部は見つけられなかったけれど、嬉しかったです。その時、私はこれからもみんなと力を合わせて頑張ろうと思いました。

自然教室のみなさん、私たちをいろいろと楽しませてくれてありがとうございました。この思い出は一生忘れません。

新潟市立早通小学校　五年生

この他にもご利用いただいた団体様から手紙や色紙等をたくさんいただきました。一つ一つじっくり読ませていただいています。心から感謝申し上げます。

私はこの宿泊学習で一番楽しかったのは海水浴です。海に来るのは久しぶりだったのでとても楽しかったです。少し水温が低かったけど、みんなで泳いだり、貝殻を拾ったりしてとてもいい思い出になりました。二番目はカヌーです。カヌーでは楽しい思い出も作れたけれど「思いやり」ということを学ぶことができました。カヌーで誰かとぶつかったら「ゆずる」ということができました。後片付けもみんなで協力してできました。

所ではきまりを守りみんなと仲良く過ごすことができました。食事もおいしかったです。二日間でたくさんの経験や思い出が増えました。本当にありがとうございました。

猪苗代町立猪苗代小学校　五年生

冬期間のご利用もおすすめです！！

10 月～５月のご利用については、夜間活動（キャンドルファイアなど）を除くプログラムにおいて、自然の家所員が指導させていただきます。利用団体引率の皆様が子どもたちと一緒に活動したり、子どもたちの活動する姿を見守ったりしやすくなります。地域の子ども会や PTA などの活動に、ぜひ少年自然の家を御利用ください。

◎室内クッキング（４月～５月、10 月～３月）

メニュー	昼食代	備　　考
うどん打ち（最大１００名）	５７０円	１グループ６～８名程度で編成し、包丁を使用するため、各グループに１～２名の大人が入ってください。
米粉ピザづくり（最大４０名）	６００円	１グループ４名程度で編成し、包丁や火を使用するため、各グループに１～２名の大人が入ってください。
もちつき（最大１６０名）	５７０円	つき手ともちを返す役は利用者で行ってください。小さい臼で約３０食、大きい臼で約６０食つくれます。

☆うどん打ちなどの室内クッキングの活動例

日帰り		10:00 出会いのつどい	10:30～ うどん打ち	昼食	13:00 別れのつどい	※昼食後に室内や体育館でレクリエーションを行うことも可能です。

＜平成 30 年度利用申込について＞

平成 30 年度の利用申込受付を随時行っています。

県内の小・中学校や特別支援学校などの他、今年度・昨年度・一昨年度に当施設を利用された団体には、メール又は郵送で詳細をお知らせしています。来年度、新たに利用を希望される団体や地域少年団・子ども会・ＰＴＡなどの皆様におかれましては、少年自然の家にお気軽にお問い合わせください。

なお、利用申込に関する案内や書類につきましては、少年自然の家ホームページからもダウンロードできます。多くの皆様からご利用いただけることを心からお待ちしています。

現在、当施設は新施設（平成 31 年４月供用開始予定）建設を進めています。平成 30 年度は、グラウンドが使用できなかったり、営火場が１つ減ったり等、いろいろな面で御不便をおかけします。御理解をお願いいたします。



野外活動支援棟

1 階部分ができあがりました！！